

会 議 記 録

会議名称	令和5年度 第3回文化財審議委員会
日 時	令和6年1月30日（火）午後2時から午後4時45分まで
場 所 等	現地調査 日岡山公園（加古川町大野、南大塚古墳及び西大塚古墳） 会 議 加古川市役所南館 303 会議室
出 席 者	<委員> 茂渡委員長、金子副委員長、岡田委員、上月委員、友久委員、中久保委員、藤原委員 <事務局> 文化財調査研究センター 河村所長、宮本副所長、山中事業担当係長、高下主査
次 第	1 市指定史跡名勝天然記念物候補現地調査 南大塚古墳及び西大塚古墳 古墳2基（加古川町大野日岡山公園地内） 2 会議 開会あいさつ（委員長） (1) 市指定史跡名勝天然記念物候補指定申請に係る審議について (2) 文化財及び文化財行政に係る意見交換 (3) 今後の予定 (4) 事務連絡 閉会あいさつ（副委員長）

内容	
1	<p>市指定史跡名勝天然記念物候補現地調査</p> <p>日岡山公園内で市指定文化財にすることについての諮問を受けた「南大塚古墳及び西大塚古墳」を調査した。</p> <p>南大塚古墳及び西大塚古墳について、資料及び指定理由書（案）を参考に、外観等を実見し、意見交換を行った。</p> <p>「南大塚古墳及び西大塚古墳」は、兵庫県を代表する古墳群と評価される日岡山古墳群を構成する主要な前方後円墳であり、古墳時代前期においてこの地域がヤマト政権と密接な関係があったことを示す貴重な文化財である。両古墳は、加古川市が管理する日岡山公園内に保存されている。</p> <p>委員からは、南大塚古墳の墳形がよくわかること、資料の数値だけでは伝わらない大きさを感じたなどの感想があった。また、南大塚古墳の石室天井部が露出していることや、西大塚古墳の埋葬施設痕跡と思われる礎敷が露出していることに対する懸念が挙げられた。その他、指定の範囲については、現況の埋蔵文化財包蔵地の範囲が理想だが、市指定の段階では現状の墳丘部分（傾斜変換点）を中心に範囲を設定し、県指定や国指定になる際には調査を実施し、周濠も含めた古墳全体とすることなどを検討してはどうかとの意見があった。変形した墳丘を指定にしている例として、庭鳥塚古墳（羽曳野</p>

市)、大鳥塚古墳(藤井寺市)、古室山古墳(藤井寺市)などの紹介があった。

2 会議

・開会あいさつ(委員長)

(1) 市指定史跡名勝天然記念物候補指定申請に係る審議について

加古川市指定史跡名勝天然記念物指定申請のあった市杵島神社境内にある「南大塚古墳及び西大塚古墳 古墳2基」について、前回の審議と今回の現地調査を踏まえ、指定理由書案等を参考に、市指定文化財に推薦することについて話し合った。その結果、全員一致で市指定文化財に推薦する答申をすることを議決した。

答申に添える指定理由書については、指定範囲について今後の国や県指定を見据えて補記を加えるなどの意見が委員からあった。案文を基に、今回の会議での意見と再確認後の委員からの意見を事務局が取りまとめ、電子メールなどで全委員の了解を得て完成することとなった。

委員の意見(要約)

- ・指定理由書の全長は現長にすべき。
- ・指定理由書に今後周濠が広がるかもしれない旨の補記を加えるべき。
- ・一番の理想は現在の埋蔵文化財包蔵地範囲を指定すること。
- ・国内の公園内にある国指定の古墳で、オープンに管理している所もある。管理方法を参考にしては?

(2) 文化財及び文化財行政に係る意見交換

事務局から、行者塚古墳(国史跡西条古墳群)南側の確認調査に伴う周濠の確認について報告があった。また、市登録文化財制度創設に伴う「加古川市の文化財の保護に関する条例」の改正事務の進捗状況について報告があった。

また、茂渡委員長から、第70回文化財防火デーに伴う鶴林寺消防訓練が1月21日に実施されたこと、1月28日に重要文化財鶴林寺鐘楼及び護摩堂保存修理完成式典が執り行われたとの報告があった。

(3) 今後の予定

事務局から以下のとおり今後の予定の説明があった。

ア 第4回文化財審議委員会について

現在のところ、今年度の議題は全て終了したため開催の予定はない。

イ 令和6年度第1回文化財審議委員会について

令和6年5月後半から6月までに開催予定。

(4) 事務連絡

・閉会あいさつ(副委員長)